

# ドレンディストロイヤー®

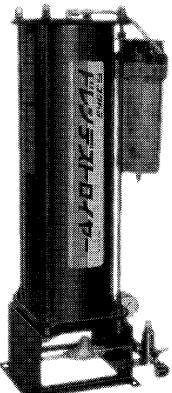
ドレンの処理はフクハラにおまかせください。

無電源・低成本・低ランニング  
簡単メンテナンス・産廃処理不要

科学技術庁長官賞

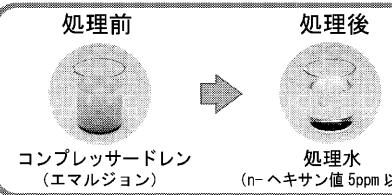
中小企業庁長官奨励賞

受賞商品



XSD25型

適用コンプレッサー 25kW以下



処理装置を導入後、エマルジョンを処理しきれずにお困りのユーザー様、ご相談ください。

37kWコンプレッサーの場合の 産廃費削減額は 約28万円/年  
75kWコンプレッサーの場合の 産廃費削減額は 約57万円/年

1981年の発売以来、豊富なノウハウがあります。  
産廃経費節減 適用コンプレッサー 7.5kW以下~1,100kW全19種ラインナップ



感動をもたらす省エネ、環境関連機器をデザインする 本社・工場 〒246-0025 横浜市瀬谷区阿久和西1-15-5

TEL 045(363)7373 FAX 045(363)6275

URL: <https://www.fukuhara-net.co.jp/>  
E-mail: [eigyo@fukuhara-net.co.jp](mailto:eigyo@fukuhara-net.co.jp)

**FR フクハラ**®

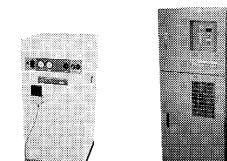
株式会社フクハラ

検索サイトからは フクハラ ドレン 検索

# 窒素ガスは空気を原料に自家生産 MAX N<sub>2</sub> 窒素ガス発生装置®

窒素ガスの製造はフクハラにおまかせください。

低圧から中圧までの圧縮空気を接続するだけで、濃度97~99.999%の窒素ガスが得られます。



(膜分離方式)  
MAX N<sub>2</sub> 窒素ガス発生装置



(PSA方式)  
MAX N<sub>2</sub> ブースター



窒素ガス発生装置 専用増圧装置

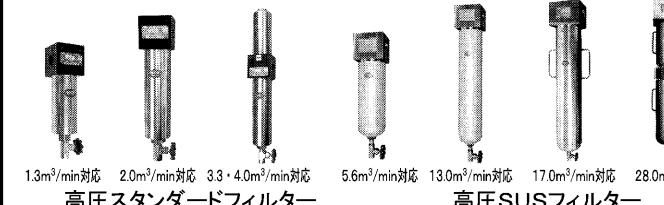
Max 1.6・3・4.5MPa  
MAX N<sub>2</sub> ブースター

流量: 6~2,500NL/min 全96機種・全国納入・稼働実績 700台以上  
メンテナンスはおまかせください。

## 4.9MPa用 高圧フィルター・高圧レギュレーター

### ■4.9MPa対応 高圧フィルター 高圧レギュレーターと一緒にご使用ください。

RoHS対応 処理流量1.3~28.0m<sup>3</sup>/min 全37機種



### ■4.9MPa対応 高圧レギュレーター

- 高圧4.9MPa対応
- 圧力調整はピストン式で長寿命
- 接続口径 Rc1/2~Rc1
- 全5機種

ARH500-4G(Rc1/2) ARH500-6G(Rc3/4) ARH500-8G(Rc1)

\*他口径 (Rc1/4・Rc3/8・Rc1 1/2・Rc2) の発売も予定しております。お問い合わせください。

# 産業ガス & ガス発生装置

岩谷産業



出荷中のヘリウムコンテナ (写真提供: 岩谷産業)

一方で、国内で地域産業への安定供給や環境保護への貢献を目指した産業ガス供給に力を入れているメーカーもある。顧客が立地する隣接地域に高効率小型液化酸素・窒素製造装置(VSU)を設置し、「安定供給」「省エネ」「CO<sub>2</sub>排出量低減」を同時に実現する革新的な供給エリアの拡大を目指している。

近い生産拠点から近距離輸送する革新的な供給技術で、さらなる設置エリアの拡大を目指している。

Vに充填する「水素ステーション」の設置が国内外で進められている。また国内では水素エネルギーの利活用拡大に向けたサプライ

ス拡大による。日本産業・医療

の技術開発により、19年

度上期(19年4~9

月)の主要産業ガスの販売量(液化、パイプ

圧送、ボンベ詰の合

計)は、窒素が前年同

期比微増の22億365

万立方メートル、酸素は同

2万立方メートル、

エーエンを構築する動き

もあり「水素社会」実現への準備が着々と進められている。

◆◆◆

2019年度上期は全般的に、電子材料ガスの需要が伸び悩んだものの、主要ユーザーである鉄鋼、非鉄、金属加工向けの需要が底堅く推移し、主要産業ガスの出荷は総じて堅調に推移した。中には、ユーザーの新高炉稼働により販売増となるたり、エレクトロニクス向けのオンラインガス供給が好調だったりしたメーカーもあつた。

19年度上期は米中貿易摩擦を背景に、海外を中心に需要は盛り上がりに欠けた。国内では工場などの省力化投資があるものの、設備投資への慎重姿勢が続いている。今後は、世界的な景気減速のマイナス影響がさらにに色濃く現れてくる可能性もある。

窒素やアルゴンは直近のデータで見ても需

要の底堅さが現れてい

る。日本産業・医療

ス協会(JIGMA)

の調べによると、19年

度上期(19年4~9

月)の主要産業ガスの販売量(液化、パイプ

圧送、ボンベ詰の合

計)は、窒素が前年同

期比微増の22億365

万立方メートル、酸素は同

2万立方メートル、

エーエンを構築する動き

もあり「水素社会」実現への準備が着々と進められている。

◆◆◆